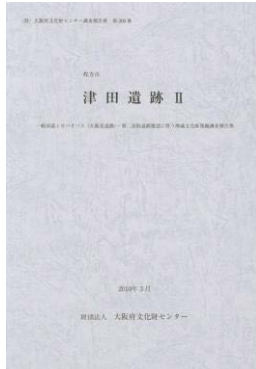




刊行図書のご案内



シリーズ名： (財)大阪府文化財センター調査報告書
シリーズ番号： 第200集

書名： **津田遺跡II**

サブタイトル： 一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

編集・発行： (財)大阪府文化財センター

サイズ： A4判

ページ数： 本文 146頁(図・表を含む)
巻頭カラー写真図版 8頁・写真図版 48頁

発行年： 2010年3月

販売価格： **1,389円(税込)**

送料： ゆうメール 350円(830g)

津田遺跡は大阪府枚方市津田南町に所在する。今回の調査は、一般国道1号バイパス(大阪北道路)・第二京阪道路の建設工事に伴い埋め立てられた大原池・新池の代替池を築造する工事に先立つものである。

調査では、旧石器時代以降の遺物と、飛鳥時代から安土桃山時代までの各時代の遺構を検出した。

飛鳥時代～奈良時代では、落ち込みや包含層から出土した火頭形三尊埴仏、小形独尊埴仏、鋳型が特筆される。須恵器をはじめ、土師器や瓦も出土した。

平安時代では、3基の火葬墓を調査した。3基とも土器は口縁部が打ち欠かれ、逆位に据えられていた。いずれも9世紀から10世紀前半の所産で、尾張、播磨、美濃といった他地域産である。

鎌倉時代は遺構の最も多い時期である。青磁碗2点、青磁皿3点、瓦器椀1点、鉄製短刀1振、鉄釘などの一括遺物を伴った墓や、床面に大石や炉のある竪穴などを検出した。さらに、溝や多くの石を使って構築された遺構も調査した。

安土桃山時代には、寺と推定される礎石建物がある。多量の瓦に加え、懸仏尊像部や線刻十一面観音鏡像などの青銅製品も出土した。阿弥陀如来の石仏列もみられた。

以上のように、各時代において宗教や埋葬に関連の深い遺構・遺物が出土した点がとくに重要である。

◀刊行物購入のお問い合わせ先▶

◀郵便振替の場合▶ 在庫をご確認のうえ、ご注文ください。

郵便振替 00990-0-312112 加入者名：(財)大阪府文化財センター
住所・氏名・電話番号を明記の上、通信欄には、**図書名・冊数・送料**を必ず記入して下さい。

※宅急便も取り扱います。

※まとめて送本する場合は料金が安くなりますので、あらかじめお問い合わせ下さい。

財)大阪府文化財センター 調査グループ 資料活用

〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9番16号 TEL 06-6785-4531 FAX 06-6785-5431